会社説明会資料

2024年1月20日(土)



高千穂交易株式会社(証券コード:2676)

2024/1/20(土) 資産運用EXPO 上場企業によるIR・株式投資セミナー

技術商社

P.9 高千穂交易の強み②「技術力」

「モノ売り」から「コト売り」へ

P.20 事業戦略「サービスビジネスの成長」①

- 万引き防止システムや監視カメラなどの商材 に技術的な付加価値を加えて販売する商社
- 全社員の40%超がエンジニア
- 中期経営計画では収益性の向上に注力
- 収益性の高いクラウドサービスが成長事業

配当性向100%

P.26 配当方針

- ROE3期平均8%達成まで配当性向100%
- 目的は資本効率性とバランスシートの改善
- 予想利回り(株主優待含む)は3.76%(*)

* 2024/1/12(金)終値、株数300株で計算



- 1. 会社概要
- 2. 事業セグメント
- 3. 業績
- 4. 中期経営計画
- 5. 株主還元



1. 会社概要

- 2. 事業セグメント
- 3. 業績
- 4. 中期経営計画
- 5. 株主還元



高千穂交易は、エレクトロニクス機器に 技術的な付加価値を加えて提供する技術商社です。

会社名	高千穂交易株式会社
証券コード	東証プライム 2676
設立	1952年3月13日(創業71年)
本社所在地	東京都新宿区四谷1-6-1 YOTSUYA TOWER 7F
代表者	代表取締役社長 井出 尊信
従業員数	連結496名、単体243名(2023年3月31日時点)
連結子会社	国内1社 海外8社(上海・香港・バンコク・シンガポール・シカゴ)





「安全・安心・快適」を実現し、お客様の課題を解決する3つの事業セグメント

クラウドサービス &サポート





クラウドサービス

保守

注力事業として システムセグメントより独立

システム



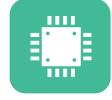


セキュリティソリューション

安全なビジネス環境の構築や店舗犯罪への対策を支援

デバイス

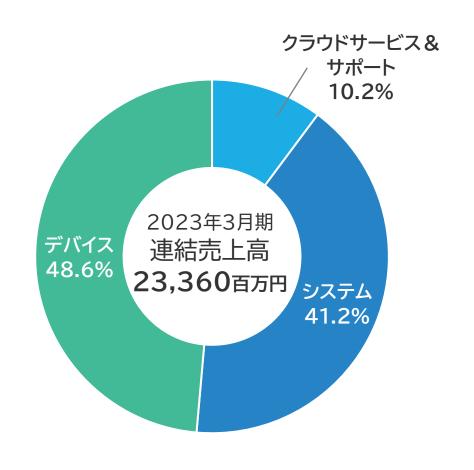
サービス・モノづくりの 高付加価値化を支援





半導体·電子部品

機構部品





お客様の潜在的なニーズを掴み、世界の先端商品を発掘する目利き力



新たな価値を提供し、 お客様の課題を解決する高い技術力



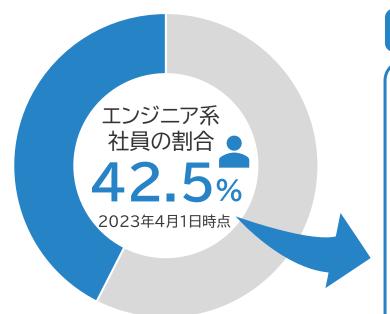
創業70年間で培った強固な顧客基盤

高千穂交易の強み①「目利き力」

潜在的なニーズを掴んで世界の先端商品を発掘する目利き力



新たな価値を提供し、お客様の課題を解決する高い技術力



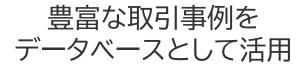
付加価値の高いサービスの実現 ワンストップサービスを提供 コンサルティング 開発・設計 置 設 アフターサービス



創業70年で培ったお客様との信頼関係による強固な顧客基盤

顧客総アカウント数 25,000





過去取引のあった お客様との取引再開









1. 会社概要

2. 事業セグメント

3. 業績

4. 中期経営計画

5. 株主還元

事業セグメント①クラウドサービス&サポート

クラウドサービス

MSP(Managed Service Provider)サービス

クラウドネットワーク製品の保守運用・稼働監視を 当社にアウトソーシングできるサービス



まとめて月額で提供

機器代 + クラウドサービス ライセンス料 + 保守料

クラウド型無線LANシステム

■ 活用事例



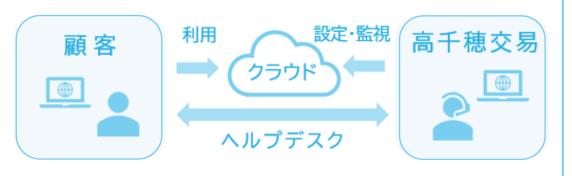
情報システム部門の人手不足に悩む

中小企業のオフィス

拠点数の多さから管理コストが高い 全国展開の店舗



■ MSPサービス利用イメージ



保守

システムセグメント製品(*)のアフターサービスを提供





(*)対象製品

万引き防止システム、入退室管理システム、ネットワーク機器他



リテールソリューション(小売業向け事業)





主な販売先

- 総合スーパー
- ドラッグストア
- アパレルショップ
- 家電量販店

万引き防止システム

顔認証システム・監視カメラ

ドラッグストア向け万引き防止システム・監視カメラシェアNo.1(*)

<u>グローバル(東南アジア向け事業)</u>



防火システム

主な販売先

- プラント建設会社
- 発電所

Guardfire



"Reach Goals with Harmony Trustable Safety for All"

ビジネスソリューション (主にオフィス・データセンター向け事業)







入退室管理システム

監視カメラ

ネットワークシステム

外資系企業オフィス向け 入退室管理システムシェアNo.1(*)



■活用事例

データセンター向け 入退室管理システム・監視カメラ

セキュリティシステムの構築を プロジェクトマネジメントから実施

システム事業 ① ワンストップで提供できる技術サービス **強み ★** ② 長年の販売実績による豊富なノウハウ



事業セグメント③デバイス

エレクトロニクス(半導体・電子部品)

製造業向けに主に海外製品を販売









アナログ半導体

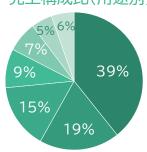
シリコンマイク

マイクロコントローラー



プリンター

2023年3月期 売上構成比(用途別)



- ■オフィス機器
- ■モジュール
- ■民生機器

■産業機器

- ■アミューズメント
- ■車載·輸送機器
- ■その他

強み①製品ラインナップ

特定分野でトップクラスの シェアのメーカーを品揃え

強み②技術サービス

自社ラボでの検証や コンサルティングを実施

メカトロニクス(機構部

製造業向けに主に国内製品(一部自社開発)を販売





スライドレール

■複合機・ATM向け機構部品(*1) シェアNo.1(*2)



複合機



スパイラルシャフト

強みは『開発力』

- お客様の仕様に合わせて 一部製品を開発
- 複数の製品を組み合わせた ユニット製品を企画開発

(*1)機構部品:ダンパー付スライドレール、開閉・引き出し用機構部品

(*2)当社調べ



目次

1. 会社概要

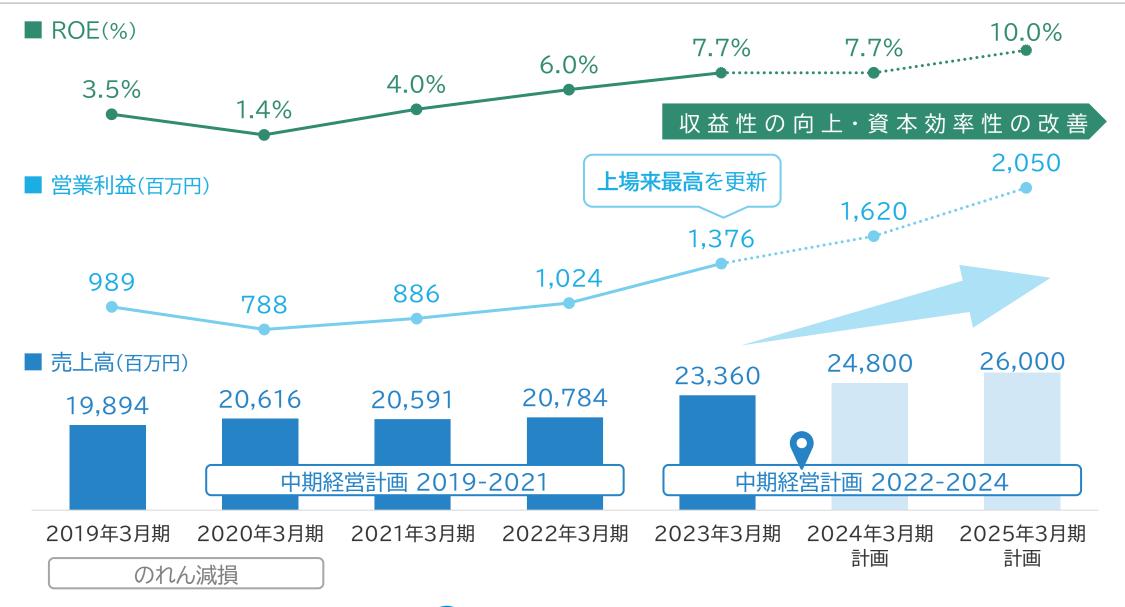
2. 事業セグメント

3. 業績

4. 中期経営計画

5. 株主還元

業績推移





セグメント別業績(2023年3月期・2024年3月期) [単位:百万円]

		2023年3月期 実績	2024年3月期 計画	増減額
クラウドサービス	売上高	2,385	2,800	+414
&サポート	営業利益	506	600	+93
	営業利益率	21.2%	21.4%	+0.2pt
システム	売上高	9,630	9,800	+169
	営業利益	92	160	+67
	営業利益率	1.0%	1.6%	+0.6pt
デバイス	売上高	11,344	12,200	+855
	営業利益	776	860	+83
	営業利益率	6.8%	7.0%	+0.2pt
連結合計	売上高	23,360	24,800	+1,439
	営業利益	1,376	1,620	+243
	営業利益率	5.9%	6.5%	+0.6pt



─ セグメント別直近の傾向・今後の方向性 ─

クラウドサービス&サポート

- MSPサービスのライセンス数が積み上がり、安定 収益であるストック収入が増加
- 新規パートナーを通じてMSPサービスの顧客層を 大企業向けに拡大し、事業拡大を目指す

システム

- オフィス回帰による需要増を取り込み、外資系企業 のオフィス向け入退室管理システムが好調
- 建設が増加するデータセンター向けに、入退室管理・ 監視カメラシステムの販売を引き続き伸ばす

デバイス

- 前年度受注残の納入が順調に進捗。また、新規代理店 契約の獲得により、売上が大幅に伸長
- 新規採用の増加、グローバル売上の拡大等により、 事業拡大を目指す

- 1. 会社概要
- 2. 事業セグメント
- 3. 業績
- 4. 中期経営計画
- 5. 株主還元

創造へのチャレンジ

~Toward 100th anniversary ニューノーマル時代における新たな価値創造へ~

数值目標

	2022年3月期 (実績)	2025年3月期
売上高	20,784百万円	26,000百万円
経常 利益	1,247百万円	2,000百万円
当期 純利益	878百万円	1,400百万円
ROE	6.0%	10.0%(目標) 8.0%(必達)

- 事 業 戦 略

- ① サービスビジネスの成長 ★
- ② ロイヤルカスタマー戦略の推進・深化
- ③ 将来のコア事業の創造
- ④ 経営基盤の強化★
- ⑤ 3年間で総額30億円の戦略投資枠★

一資本戦略

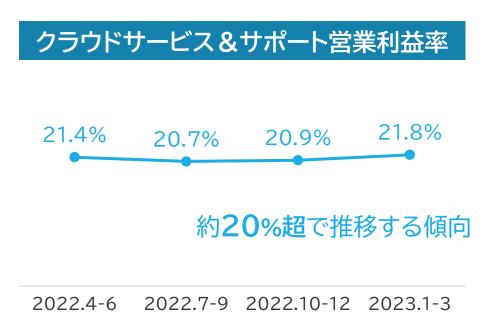
- ① ROE3期平均8%達成まで配当性向100% ★
- ② 大型投資には有利子負債の活用を検討

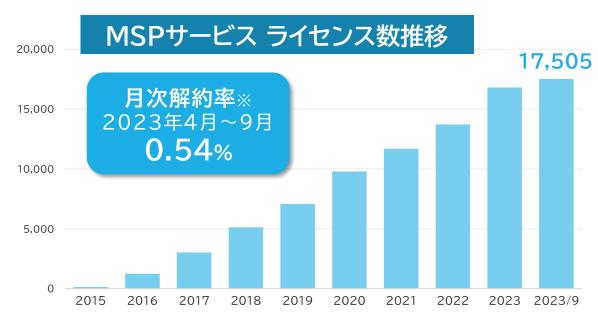
ーガバナンスー

- ①「投資委員会」・「指名・報酬委員会」の設置
- ② 役員報酬のKPIにROEを設定



収益性・安定性の高い『クラウドサービス&サポート』をさらに成長させていく方針





【課題】

- 卸売業は営業利益率の改善に課題がある傾向
- フロー型ビジネスは外部環境に左右されやすい

【方針】

- 収益性の高いクラウドサービス事業に注力
- ストック型ビジネスにより安定性が向上





2023年12月1日リリース

当社独自のクラウドサービス

『Cloom(クルーム)』で出来ること

- ① ネットワークの稼働状況の可視化
 - ➡ 障害時の切り分けがスムーズに
- ② 会議室の利用状況の可視化
 - → 空予約を防ぎ、会議室を有効利用
- ③ 社員の居場所の可視化
 - → フリーアドレスでの円滑なコミュニケーション



統合型セキュリティソリューション

- ✓ お客様のハイブリッドワークならではの課題を解決
- ✓ 当サービスを拡販し、クラウドサービスの契約種類増・平均単価アップを狙う



経営基盤の強化「人材育成・人材投資の強化」

中期経営計画2022-2024

収益構造の改革

- ①『モノ売り』から『コト売り』へ
- ② 事業ポートフォリオの強化
- ③ DXによる業務効率化



人材戦略の方向性

- ✓ 『コト売り』に必要なスキルの獲得
- ✓ 機動的な人材配置、DXによる業務効率化を実現 する人材の育成
- ✓ エンゲージメント向上のための社内環境整備

❷ 社員株主化に向けた取り組み

従業員持株会の状況

2023年3月末日時点

加入率 79.6%

拠出額 21年4月から 3.1倍



- 2022年4月より奨励金を50%に拡充
- 「従業員持株会を活用した資産形成」をテーマとした 社内説明会で勧誘を実施

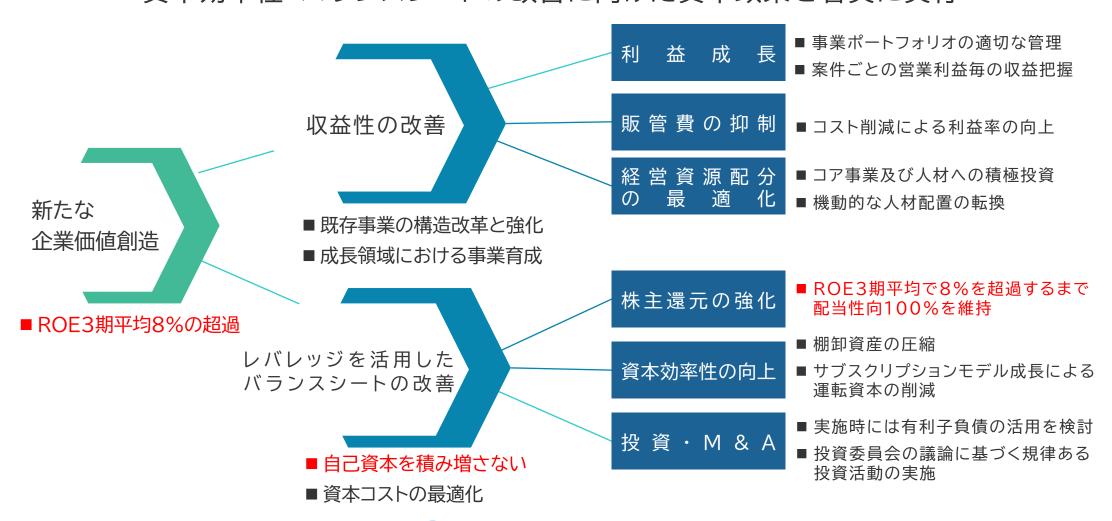
❷ 資格手当制度改定

- リスキリングの意欲を高めるため制度を拡充
- 対象資格を約2倍の99種に増やし、奨励金額を増額 一部資格では月次手当を支給

ランク	対象資格(例)	取得時手当	月次手当 (2年間)
プラチナ	公認会計士	50,000	20,000
ゴールド	ネットワークスペシャリスト	30,000	10,000
シルバー	TOEIC 900点	10,000	5,000
ブロンズ	日商簿記2級	_	3,000
ベーシック	ITパスポート試験	10,000	_

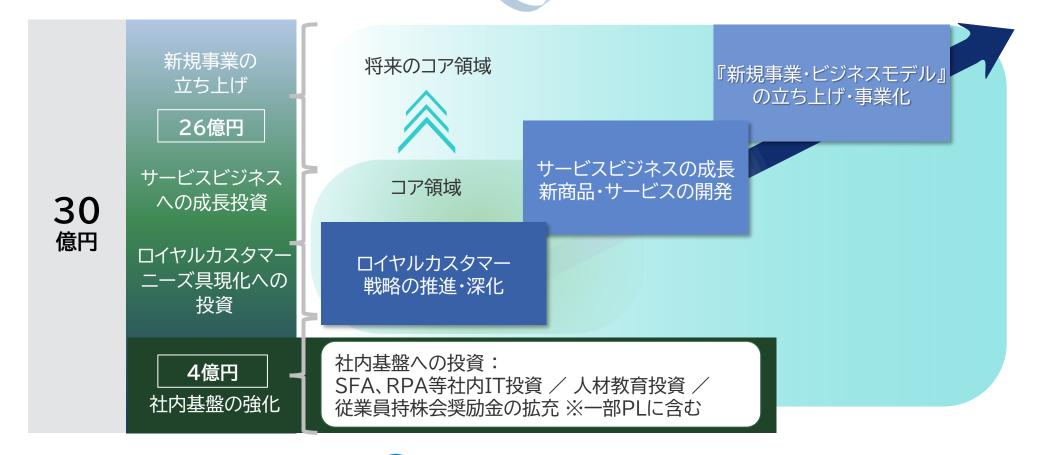


当社の財務健全性を総合的に勘案したうえで 資本効率性・バランスシートの改善に向けた資本政策を着実に実行



「新たな企業価値創造」に向け、30億円の戦略投資枠を設定

ビジネス基盤の強化 注力事業・領域への積極投資 成長ドライバー の加速 新規事業 ビジネスモデルの創出



目次

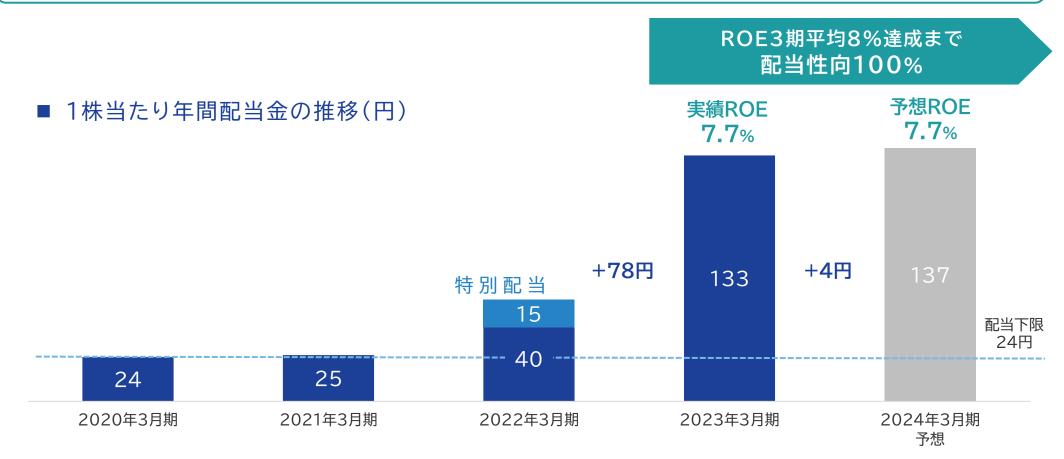
- 1. 会社概要
- 2. 事業セグメント
- 3. 業績
- 4. 中期経営計画
- 5. 株主還元



2024年3月期は年間137円(中間53円・期末84円)を予定

中期経営計画2022-2024における還元方針

自己資本を積み増さない積極的な株主還元を企図し、ROE3期平均(*)8%を達成するまで、配当性向100%を維持



^{*} 中期経営計画初年度である2023年3月期以降の 直近3期分の平均



株主優待

基準日(毎年3月31日時点)の株主名簿に記載されている100株以上保有の株主様に対し、 保有株式数に応じて「おこめギフト券」を贈呈

保有株式数	優待内容
100株以上 200株未満	おこめギフト券 2kg分
200株以上 300株未満	おこめギフト券 5kg分
300株以上	おこめギフト券 10kg分



予想利回り(株主優待含む)

【計算条件】

- 株価:2024/1/12 終値(4,035円)
- おこめギフト券1kgあたり440円
- 300株保有



3.76%

高千穂交易株式会社(証券コード:2676)

2024/1/20(土) 資産運用EXPO 上場企業によるIR・株式投資セミナー

技術商社

P.9 高千穂交易の強み②「技術力」

「モノ売り」から「コト売り」へ

P.20 事業戦略「サービスビジネスの成長」①

- 万引き防止システムや監視カメラなどの商材 に技術的な付加価値を加えて販売する商社
- 全社員の40%超がエンジニア
- 中期経営計画では収益性の向上に注力
- 収益性の高いクラウドサービスが成長事業

配当性向100%

P.26 配当方針

- ROE3期平均8%達成まで配当性向100%
- 目的は資本効率性とバランスシートの改善
- 予想利回り(株主優待含む)は3.76%(*)

* 2024/1/12(金)終値、株数300株で計算



本資料のお取り扱い上のご注意

- 本資料は、将来の業績に関わる記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績を保証する ものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は経営環境の変化などにより、 異なる可能性があることにご留意ください。
- 本資料は情報の提供のみを目的としており、取引の勧誘を目的としておりません。

お問い合わせ先

高千穂交易株式会社 経営企画室 IR担当

ir-takachiho@takachiho-kk.co.jp



03-3355-1201

